いいじゃんフォトコンテスト

～『この地域のここが好き』という思いの伝わる写真を　～

R8.11.6

１　主　催　　蒲中学区生徒会・児童会

２　共　催　　蒲中学区学校運営協議会

３　趣　旨

・蒲中学区の自然や文化、施設など地域の魅力を見つめ直し、その素晴らしさを広く発信することを目的として「いいじゃんフォトコンテスト」を開催する。
・地域を歩き、地域を知り、地域のよさを発見する活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育む機会とする。

４　目　的

① 蒲中学区を巡り、地域の魅力やよさを再発見する。
② 地域への愛着と誇りを育てる。
③ 小中学生と地域住民が共に地域の魅力を発信する機会をつくる。
④ 世代を超えた交流を促進し、「地域ぐるみの学校づくり」を推進する。
⑤ お宝作品を、今後の学習、地域学校協働活動に活かす。

５　テーマ

「蒲中学区のすてきな宝物」（風景、自然、歴史、文化、建物など）
※部門はつくらない
※人物の入った写真は募集しない。
※私有地への立入りや危険な場所での撮影は禁止する。

６　応募対象

・蒲中学区の４校児童生徒、教職員
・蒲中学区の在学生、在勤の方
・保護者、地域住民
・学校運営協議会委員

７　活動期間

・応募期間　　１１月１６日（月）～１２月１１日（金）
　　（上記期間以前に撮影された写真も可とする）
・審査期間　　１２月１７日（木）～　１月１５日（金）
・結果発表　　１月２２日（金）蒲中 HP にて（小学校ＨＰにリンクをはる）
・展示期間　　１月２７日（水）～　２月１９日（金）
・地域賞表彰　　２月１３日（土）　学校運営協議会にて実施

８　撮影方法

・蒲中学区内で撮影された作品とする。
・スマートフォン、タブレット、デジタルカメラで撮影する。
・応募者本人が撮影した作品に限る。
・画像加工は明るさや色調補正程度とする。
・安全に十分配慮し、交通ルールを守って撮影する。

９　応募方法

① 専用フォーム（二次元コード）から撮影した写真データを応募する。
・学校用と地域住民用の２種類の二次元コードを準備する。
・保護者、地域の方の応募作品は、有料 cloud（契約済）に一次保存する。

② 応募は一人１作品までとし、以下の項目を入力する。
氏名、所属（学校・学年、連絡先等)、作品タイトル、撮影場所など

10　審査基準

・写真技術ではなく、次の観点を重視する。

＜観　点＞

① 「この地域のここが好き」と地域への愛情や思いが伝わる
② 「地域の魅力」が伝わる
③ 「蒲中学区らしさ」が感じられる
④ 「着眼点」がユニークである

11　表　彰（記念品あり）

「生徒会児童会長賞」　･･･小中の会長が審査　　１点
「学校運営協議会長賞」･･･学校運営協議会長が審査　　１点
「学校賞（児童生徒)」　･･･代表児童生徒が審査　　各校３点程度
「地域賞（地域の人)」　･･･学校運営協議会委員が審査　数点（応募状況による）

12　審査方法

＜審査員＞

児童生徒代表、学校運営協議会会長、委員
※児童・生徒の応募作品は、各小中学校で、30 枚程度に絞る。
※地域の方の応募作品は、一次審査を生徒会役員が行い 30 枚程度に絞る。
二次審査を学校運営協議会委員が二次元コードで投票し決定する。

13　展示方法

＜展示のねらい＞

作品を見合いながら地域の魅力を再発見し、地域への愛着を深める。

＜展示場所＞（予定）

蒲郡市役所　公民館　市立図書館　蒲郡駅　商業施設　蒲中学区４校
保育園　蒲郡高校　等
※入賞作品をロール紙（Ｂ紙）に印刷し展示する。

14　広報活動（事前 PR）

・学校だより
・各校 HP から蒲中 HP にリンク（一般地域用の二次元コードを掲載）
・地域回覧板（１０月２２日までに公民館に届ける）
・ポスター掲示
・市の公式ライン
などにより広く参加を呼びかけ、地域の人に参加してもらう。

15　その他

・応募作品は、主催者が広報活動等に使用できるものとする。
・人物が写り込んでいる作品は、応募対象外とする。